

# 海老彰子

ピアノリサイタル

# 40 FAZIOLI

1981 / 2021 ANNIVERSARY  
ファツィオリ創立40周年記念



世界で活躍する海老彰子が奏でる二つの世界  
変奏曲の傑作 から 定評ある近現代・フランス作品 まで

コロナ時代の感染対応策・徹底 昼・夜 別プログラム、休憩なしの各1時間

**昼公演** 開演14:00(開場13:30)

W. A. モーツァルト  
デュポールのメヌエットによる  
9つの変奏曲 ニ長調 K.573

L. v. ベートーヴェン  
創作主題による32の変奏曲  
ハ短調 WoO.80

J. ブラームス  
ヘンデルの主題による変奏曲と  
フーガ 変ロ長調 Op.24

**夜公演** 開演18:30(開場18:00)

G. フォーレ  
主題と変奏 嬰ハ短調 Op.73

武満徹  
雨の樹素描 II  
——オリヴィエ・メシアンの  
追憶に

C. ドビュッシー  
ピアノのために

M. ラヴェル  
夜のガスパール

\*未就学児のご入場は、ご遠慮ください。  
\*やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。  
予め、ご了承ください。  
\*開場時間前のご来場はご遠慮ください。



©武藤章

2020年11月28日 土

昼・夜各公演  
チケット料金

一般 5,000円 学生 2,500円  
ティアラ友の会 4,500円

9月10日より  
発売開始

昼・夜公演通し券 8,000円 \*通し券はファツィオリジャパン(株)のみ

豊洲シビックセンターホール(5F)

東京メトロ有楽町線「豊洲駅」7番出口徒歩1分／新交通ゆりかもめ「豊洲駅」改札フロア直結

チケット取扱  
お問い合わせ

■e+ (イープラス) eplus.jp

■豊洲文化センター TEL: 03-3536-5061 9時~21時(休館日第2・4月曜日)

HP(24時間): <https://www.kcf.or.jp/toyosu/>

■ファツィオリジャパン株式会社 <https://fazioli.co.jp/inquiry/tickets> Tel: 03-6809-3534

主催 ファツィオリジャパン株式会社 <http://www.fazioli.co.jp> 共催 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 豊洲文化センター 後援 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



▲先行予約、チケット  
ご購入はごちらのQR  
コードよりメールでお  
申し込み頂けます

# 海老彰子の魅力を余すところなく聴くことのできる 贅沢なりサイタル

——— 音楽評論家 道下京子

私が海老彰子のピアノを初めて聴いたのは、いまから30年近く前。第10回ショパン国際ピアノコンクールのライヴ録音で、彼女の奏でるショパンのプレリュードやコンチェルトの1番を聴いた。卓越したテクニックから生み出される、輝くような音の色彩と深淵から湧き上がるような情熱に、深く心奪われた。彼女はそのコンクールで第5位（第4位なし）を受賞した。

東京藝大在学中に日本音楽コンクールで優勝、またロン＝ティボー国際コンクールで第2位を受賞するなど、ショパン・コンクール以前から海老は次世代を担う若きピアニストとして注目を集めていた。パリと東京を軸とした彼女の音楽活動は40年を超え、演奏活動にとどまらず、教育面でも足跡を残している。

この11月、海老は東京でリサイタルを開催する。ソーシャルディスタンスに配慮して客席数を少なくするために、ホール側から昼夜公演にしてはどうかとの提案があったという。そこで海老は、プログラムを練り直し、2公演のプログラムを編んだ。

昼公演では、ドイツ語圏の作曲家の変奏曲によるプログラムだ。プログラムの冒頭を飾るのは、モーツァルトの《デュポールの主題による変奏曲》。デュポールはフランス革命を逃れ、プロイセンの国王に招かれてベルリンで活躍したフランス出身のチェリスト。彼の作曲したチェロ・ソナタのなかのメヌエットをもとに、モーツァルトは変奏曲を書き上げた。ベートーヴェンもベルリンを訪れ、デュポールのために《チェロ・ソナタ 第1番&第2番》を作曲。ベートーヴェンの《創作主題のための32の変奏曲》はその約10年後の作品で、バロック時代に盛んに行なわれていたバツソ・オスティナートの手法を取り入れている。そして、ブラームス《ヘンデルの主題による変奏曲》は、海老が日本音楽コンクールで演奏した思い出の作品。クララ・シューマンに捧げられたこの変奏曲は、ヘンデルの作品を主題とし、バロック時代の書法研究とブラームスの変奏手法が見事に融合している。

そして、近現代のフランスの曲目の夜公演も、変奏曲に始まる。フォーレ《主題と変奏》は、シューマンの《交響的変奏曲》との関連も指摘される。武満《雨の樹素描 II—オリヴィエ・メシヤンの追憶に》は、海老がCDにも収録した作曲家、大江光の父、健三郎の小説に示唆を得て書かれた。そして、前述のフォーレ作品と同時期に完成したドビュッシー《ピアノのために》は、ドビュッシー特有のピアニズムとともに、18世紀のフランス古典主義を継承した作品。ラヴェルは、さらに古き良きフランス・バロック時代に深く傾倒すると同時に、幻想的な芸術にも惹かれた。19世紀前期の詩人ベルトランの怪奇的で空想的な3つの詩をもとに、彼は《夜のガスパール》を作曲する。

フランス作品に定評のある海老であるが、そのレパートリーは実に幅広い。その研ぎ澄まされた感性と比類なく安定した演奏技巧を礎として、ピアノ独奏だけではなく、室内楽などさまざまな分野にも取り組んでいる。室内楽の演奏では、全体を包み込むような彼女の揺るぎないピアノがアンサンブルを見事にまとめ上げ、何よりも奏者の一人ひとりから対話を引き出してゆく姿に強い感銘を受けた。私が聴いた演奏の多くはフランスの作曲家の作品であるが、その音楽の表現には浮薄な曖昧さは微塵もなく、構築感に富んだ演奏である。とりわけ、深いタッチから生み出される重みのあるふっくらとした音は雄弁で、多彩なダイナミクスを通して高貴にして繊細な音楽を創り上げてゆく。彼女の指から紡ぎ出される音の一つひとつには、魂と鮮やかな生のいぶきが宿り、その息遣いやリズム感にはヨーロッパの香りがする。

海老の魅力に余すところなく聴くことのできる贅沢なりサイタルとなるだろう。

## 海老彰子プロフィール

東京とパリを拠点に活躍する、日本を代表する本格実力派ピアニスト。バロック、近現代音楽まで幅広いレパートリーを持ちグローバルに活動する。他国の文化を尊重しつつ、たおやかな日本人らしさを忘れない温かみのある人柄は、世界中の名演奏家や若手演奏家から厚い信頼を寄せられている。

大阪府出身。東京藝術大学1年在学中に第41回日本音楽コンクール優勝後、フランス政府給費留学生としてフランスで研鑽を積む。パリ国立高等音楽院最優秀首席卒、同研究科卒。同音楽院にてアルド・チッコリーニの愛弟子となる。以降パリに在住し、フランスを拠点に世界各国で精力的に演奏活動を続ける。

多くの受賞歴を持ち、ロンティボー国際コンクールで第2位グランプリと4種の特別賞をA.ルーピンシュタイン氏等から受けるほか、ショパン国際コンクールで4位なしの5位入賞。日本ゴールドディスク大賞2回、仏政府から文芸シュバリエ勲章、パリ名誉市民メダル、エクソン・モービル音楽賞本賞（日本）等受賞。

36ヵ国で、音楽祭、テレビ・ラジオ放送、CD録音に活躍し、世界有数のオーケストラやソリストと数多く共演。マルタ・アルゲリッチとの2台のピアノ・デュオ・コンサートは、世界的にテレビ放映され、大好評を博した。

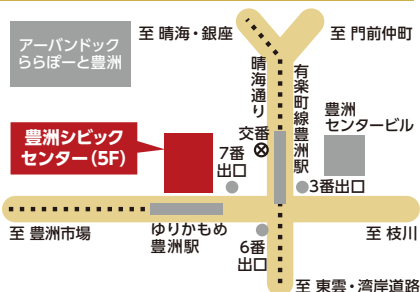
ワルシャワの1838年製エラールで録音したショパンの前奏曲と即興曲全集のCD録音をはじめ、フェーメ作品集（世界初演）、ウェーベルン、フランク、ピエルの「ピアノと弦楽のための五重奏曲」、大江光ピアノ作品など、11枚のCD録音がある。「ラヴェル全ピアノ作品集」の楽譜や「アルド・チッコリーニ わが人生」（日本語訳）を出版。（全音楽譜出版社）。

第8回及び第9回浜松国際ピアノコンクール審査委員長。第17回、18回ショパン国際ピアノコンクール審査員、その他ロン・ティボーなど、多くの主要国際音楽コンクールの審査員を務める。日本ショパン協会会長。横浜市招待国際ピアノ演奏会実行委員長。

## 豊洲シビックセンターホール

江東区豊洲2-2-18  
豊洲シビックセンター5階  
Tel: 03-3536-5061  
<https://www.kcf.or.jp/>

- 電車利用の場合  
東京メトロ 有楽町線 豊洲駅  
下車7番出口より徒歩1分／  
新交通ゆりかもめ 豊洲駅下車  
改札フロア直結
- 都バス・豊洲駅下車徒歩2分



FAZIOLI  
ファツィオリジャパン株式会社

〒105-0023  
東京都港区芝浦1-13-10  
Tel.03-6809-3534  
info@fazioli.co.jp



<http://www.fazioli.co.jp>

\*ファツィオリのご試弾のお申し込み、その他お問い合わせ等、お気軽にご連絡下さい。